

日立アプライアンス 環境報告書 2011  
Hitachi Appliances Environmental Report 2011





## 確かな技術で社会に貢献し、 皆様に信頼される企業を目指

3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、不幸にしてお亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。

当社におきましても、家電事業の主力工場である茨城県の多賀事業所において、工場建屋や生産設備等に被害を受けました。しかしながら、日本の復旧、復興に向け、製品の供給を通じて社会的責任を全うするとの決意で、全力をあげて復旧作業を急ぎ、3月22日には生産を再開いたしました。

さて、日立アプライアンスは、空調と家電の分野で、人びとの生活や社会の基盤を支える製品を提供してきました。2010年10月には照明事業も加え、日立グループの中で、名実ともに社会・生活インフラを担う事業体になりました。

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故は、日本のみならず世界各国のエネルギー政策に影響を及ぼしており、今後はエネル

ギーの安定供給や経済効率、さらには環境負荷の低減や非常事態への対応性などの観点での議論が活発化し、長期的にはエネルギー需給の姿が、グローバルに変革していくことも予想されます。

人びとの暮らしや産業、経済活動を支えるため、各種のエネルギー使用機器が先進国においても新興国においても普及してきていますが、そのような機器に対しては省エネルギー化の要求がますます高まっていくほか、機器群やシステムに対して使用エネルギーの最小化、平準化を行うような、高度なエネルギー制御システムの要求も高まっていくものと考えられます。

そのような中、当社は、日立グループの一員として、技術を通じて社会に貢献するとの基本理念のもとに、省エネ性能と使い勝手を追求した空調製品、家電製品を、それぞれの国や地域の要求に応える形で、生活を豊かにする財として提案、提供してまいります。

日立グループでは、持続可能な社会の実現に向

します。

け、環境への取り組みの基本方針として、「地球温暖化の防止」「資源の循環的な利用」「生態系の保全」を柱とする「環境ビジョン」を定めています。

当社はその「環境ビジョン」に沿い、製品における環境配慮のほか、事業所の省エネルギー活動や、環境影響化学物質の管理の強化、廃棄物のリサイクルや適正処理など、事業活動全般の環境負荷の低減を進め、グローバル環境貢献企業として前進してまいります。

当社の取り組みについて、皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております。

取締役社長

山本晴樹

トップメッセージ	01
環境配慮製品とその技術	03
環境活動報告	06
環境保全行動指針	06
環境管理体制	06
環境マネジメントシステムの構築	06
地球温暖化の防止	07
ライトダウンキャンペーンに参加	07
モーダルシフトの取り組み	07
資源の有効利用	07
家電リサイクルへの対応	08
化学物質の管理	08
製品含有化学物質の管理、REACH規則への対応	08
展示会への出展	09
環境教育への貢献	09
自然保護活動	09
会社概要	10

「フロストリサイクル冷却」とともに、独自の省エネ技術を開発  
冷蔵庫

インテリジェント真空保存  
真空チルド<sup>1</sup>

「フロストリサイクル冷却」と、数々の独自技術により、省エネ性能を向上。さらに大容量670Lを実現。

省エネルギー

運転時に冷却器に付着する霜の冷たさを冷蔵室、野菜室の冷却に活用する「フロストリサイクル冷却」に加え、冷媒バルブ制御やフレックス真空断熱材の採用などにより年間消費電力量を低減。

地球環境に配慮

冷媒に、代替フロンと比べて地球温暖化への影響が少ないR600a(インブタン)を使用。



R-B6700 (XT)



栃木家電本部 冷蔵庫設計部  
技師  
山脇 信太郎

省エネ技術の開発推進だけでなく、真空<sup>\*1</sup>の力で酸化を抑える真空チルドルームでは、「CO<sub>2</sub>センサー」と「収納量センサー」の搭載により、野菜の有無を見極めて自動で温度設定するとともに、食品の収納量に応じて冷却スピードを制御するなど進化させています。これにより、今まで以上に満足していただける製品に仕上げました。

<sup>\*1</sup> 真空とは大気圧よりも圧力が低い空間を指します。真空チルドルーム内は約0.8気圧で大気圧よりも低いので、当社では真空と呼んでいます。

6つのセンシングでエコにお洗濯  
洗濯乾燥機

ビートウォッシュ

ビートウォッシュBW-D9MVは、「自動おそうじ」を採用。洗濯のたびに、洗濯槽の裏側などの見えない部分に付着した皮脂汚れや洗剤カスなどを自動で洗い流します。

節水

タテ型洗濯乾燥機で唯一、節水循環ポンプを搭載。従来のため洗いと違い、トリプルビートウィングで衣類を舞い上げ、水を循環させて洗うことで、高い節水性を実現。



イメージ図

トリプルビートウィング  
節水循環ポンプ



BW-D9MV(N)



多賀家電本部 家電第一設計部  
主任技師  
立山 卓也

進化した[eco水センサー]システムと[エコビート洗浄]でさらにエコ性能をアップしました。[eco水センサー]システムは、「水の硬度」や「布質」「布量」「水温」に加え、新たに「すすぎ具合」「脱水具合」も見極めて、6つのセンシングで、洗剤量表示、使用水量、洗濯時間をかきこく調整します。また、押して、たたいて、もみ洗う、日立独自の[エコビート洗浄]は、タテ型洗濯乾燥機で唯一、節水循環ポンプを搭載し、洗剤液を循環させて節水しながら、きわだつ白さに洗いあげます。

日立独自の[ステンレス・クリーン システム]を採用  
ルームエアコン

イオンミスト ステンレス・クリーン  
白くまくん Sシリーズ

エアコン内部にステンレスを採用し、汚れなどを抑制する[ステンレス・クリーン システム]を搭載。人の動きや居場所に加え、テレビや掃除機がけなどの生活音や、日差しなどによる床・壁温度も検知する[見る・聞く・感じるセンサー]により、生活シーンに合わせてきめ細かく省エネ運転<sup>\*1</sup>を実現。

<sup>\*1</sup> RAS-S40A2において、当社独自の条件により評価しています。

省エネルギー

CV-PAM<sup>\*\*2</sup>制御と高効率モーターを搭載。効率を向上させた室内熱交換器と高密度室外熱交換器の採用(4.0~7.1kWクラス)により、高い省エネルギー性を実現しています。

(RAS-S40A2の場合：APF6.5 期間消費電力量1,233kWh。期間消費電力量はJIS C 9612に基づくAPFから算出)

<sup>\*\*2</sup> カスケードベクトル制御方式のPulse Amplitude Modulation

手間を低減

ステンレスフィルター自動お掃除機能で面倒なフィルター掃除の手間を低減。

RAS-S40A2(W)



栃木空調本部 空調システム設計部  
技師  
飯塚 義典

「人の動作」と「生活音」を組み合わせることで、人の活動状態をより細かく推定できるセンサーと、ふく射熱を検知するセンサーを新たに開発しました。

選べる3つのリニューアル方法で、様々なニーズにお応え

LED照明

直管形LED

「そのままLEDに交換したい」「器具ごと新しいLEDに交換したい」など、様々なニーズにお応えします。

省エネルギー

高効率のLEDを採用することで、従来のFLR40形器具より約44%省エネ(明るさは94%)。

選べる3つの  
リニューアル方法

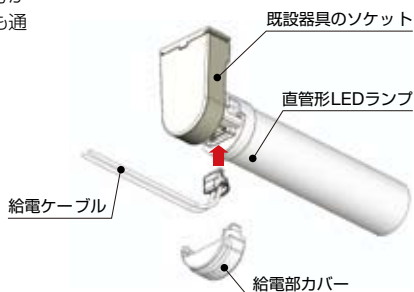
「給電ケーブル方式」「ソケット交換方式」「LED器具交換方式」が選べます。「給電ケーブル方式」なら既存器具を使ってLED照明にリニューアル可能。万が一蛍光灯を誤装着しても通電しない安心設計です。



高効率LEDモジュール搭載



給電ケーブル方式



既設器具のソケット

直管形LEDランプ

給電ケーブル

給電部カバー

2カ所同時に出湯してもパワフルシャワー

エコキュート

ナイアガラ出湯  
薄型タンク(プレミアム)

水道圧をそのまま利用し瞬間湯沸かしする[水道直圧給湯]。シャワー蛇口(混合水栓)に給湯する、貯湯ユニット内の直圧給湯配管に、サビにくく、汚れにくいステンレスを採用。

省エネルギー

フレックス真空断熱材の採用とヒートポンプユニットの高効率化などにより、省エネルギー性を向上。

地球環境に配慮

自然冷媒(CO<sub>2</sub>)を使用しているため、オゾン層破壊の心配がなく、地球環境に配慮。

省スペース

角型タンクの採用により、本体幅415mmの薄型ボディを実現。



ヒートポンプユニット

貯湯ユニット

※貯湯ユニットの写真は、脚カバー(別売)装着品です。



多賀家電本部 照明設計部  
企画員  
山本 涼平

万が一蛍光灯を誤装着しても通電しないよう新構造「外部給電(給電ケーブル方式)」を採用しました。既存の器具を使ったLEDへのリニューアルに最適です。



清水住機本部 住機設計部  
技師  
島崎 幸治

ヒートポンプユニットの圧縮機などの高効率化と貯湯ユニットの断熱性向上を図ると共に、学習機能などの制御との組み合わせで省エネ性を追求しました。

「器具もランプもぐっとスリム」同じ明るさで省資源

次世代環境配慮形照明

ハイスリムe5(エコ)シリーズ

省エネルギー

高効率107ルーメン/Wを実現。

省資源

管径15.5mmの細径ランプで質量約55%削減\*1と大幅な省資源を実現。  
\*1 「FLR40形ランプ(FLR40S)」と「ハイスリムUV(FHF45S・EN-V)」との比較。  
FLR40S:約255g、FHF45S・EN-V:約115g

長寿命

定格寿命20,000時間で従来品と比べて約1.7倍\*2の長寿命を実現。  
\*2 「FLR40形ランプ(FLR40S)」と「ハイスリムUV(FHF45S・EN-V)」の定格寿命の比較。FLR40S:12,000時間、FHF45S・EN-V:20,000時間。  
定格寿命はJISに則った試験のデータに基づいて算出した平均的な寿命であり、使用環境・使用方法により寿命が異なります。



施設例



青梅照明本部 設計部  
技師  
高橋 喜将

ランプには長寿命電極と細径ガラス管を採用し、器具では徹底したスリム設計によって、長寿命と省資源化、軽量化を図りました。

ハイマウント水銀蒸気圧制御で細くても明るい設計とし、エコでスタイリッシュな照明を実現しました。さらにナノ粒子コーティング(UVカット)で、退色防止や防虫効果もあります。

## 省エネ性と快適性向上を両立

店舗・オフィス用パッケージエアコン

## 省エネの達人プレミアム

40型(1.5馬力相当)から280型(10馬力相当)において省エネ法の2015年基準値をクリアするとともに、業界トップクラス\*1のAPF(通年エネルギー消費効率)を実現。また、機器の省エネ性能アップにより、消費電力量とCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します。

\*1 2011年9月現在。店舗・オフィス用パッケージエアコンの40~280型において、335型は除く。「省エネの達人プレミアム」と新型「てんかせ4方向」の組み合わせにおいて、224型、280型は同時ツインの場合。

### 省エネルギー

- ・圧縮機構造部の改良や新型DCインバーターモーターなどを採用し低速性能を向上した新型スクロール圧縮機などにより、年間消費電力量約57%\*2削減。  
\*2 当社10年前一定速機RAS-P140Hとの比較(140型、てんかせ4方向(シングル機)接続時、JRA 4048(東京・戸建て店舗)による試算)
- ・室外ユニットの全機種に標準装備した「個別運転」に加え、室内ユニット「てんかせ4方向」に新搭載した「人感センサー」により、人の動きに応じて自動的に空調運転を抑制。通常運転時よりも消費電力を低減可能。

### 地球環境に配慮

オゾン層を破壊しない冷媒R410Aを採用。



システムセット型式  
RCI-AP140GH



## インバーターによる回転数制御により、高い部分負荷効率を実現 高効率インバーター制御ターボ冷凍機

## GXシリーズ

インバーター制御により外気温の低い秋・冬・春に大幅な省エネ運転が可能。冷凍サイクルや回転数制御方式の改良により、部分負荷運転時の最大COPを大幅改善。

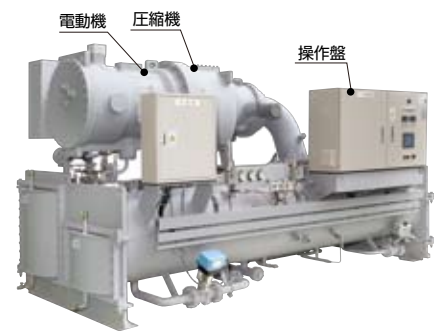
### 省エネルギー

季節による冷却水温度の変化を利用し圧縮機の回転数を制御、部分負荷運転の高効率化により年間電力使用量約58%削減\*1。

\*1 1050RT/7℃機種(年間負荷率40~90%)でHC-I1-F1000GX-IIと当社従来機HC-F1250型(固定速)の比較。

### 地球環境に配慮

オゾン層を破壊しない冷媒R134aを採用。



HC-I1-F1000GX-II



土浦空調本部 設計部  
技師  
碓本 孝徳

冷凍サイクルや回転数制御方式の改良により、部分負荷運転時のCOPを大幅に改善しました。省エネ性が大きく叫ばれる昨今に、ぴったりの製品です。

## システムインテグレーションによる先端の省エネシステム

## 空調システムソリューション

空調技術、低温技術、クリーン化技術などのコア技術をもとに、食品・流通分野向け、半導体・液晶分野向け、医薬・医療分野向け、研究機関向けなどの個別のニーズに応じたソリューションを提供しています。

### 自社高効率機器を使用したシステム提案

- 圧縮機のインバーター化
- エネルギー消費効率の優れた機器の採用

### 総合的な省エネルギーシステムの提案

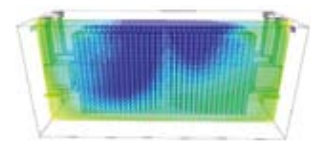
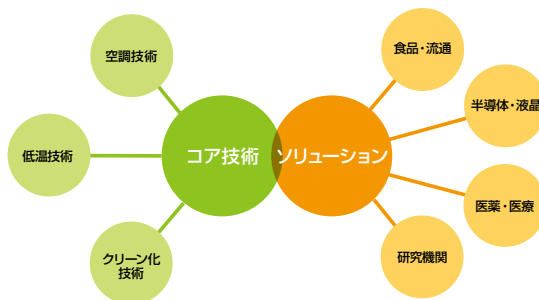
- 運転制御の最適化
- 排熱・排水の利用
- 自然エネルギーの採用

### 安心と信頼のリノベーション(設備更新)提案

- イニシャル・ランニングコストの低減
- 綿密な現場調査と施工計画
- 既設稼働生産ラインの影響対策

### 氷蓄熱による省エネ型冷凍冷蔵倉庫の提案

- 冷凍冷蔵倉庫における液過冷却方式氷蓄熱設備の導入
- 受電容量低減
- ランニングコストの低減



気流シミュレーション



パッケージ室外機



モジュールチラー

## ■ 環境保全行動指針

本指針は、「日立アプライアンスグループ企業行動基準」を基本理念とし、当社の事業活動に関わる環境保全への取り組みに対する行動の指針です。

### スローガン

製品・サービスを通じて環境と調和した持続可能な社会を実現するために、当社は製品の全ライフサイクルにおける環境負荷低減を目指したグローバルなモノづくりを推進し、地球環境保全に努めることにより社会的責任を果たす。

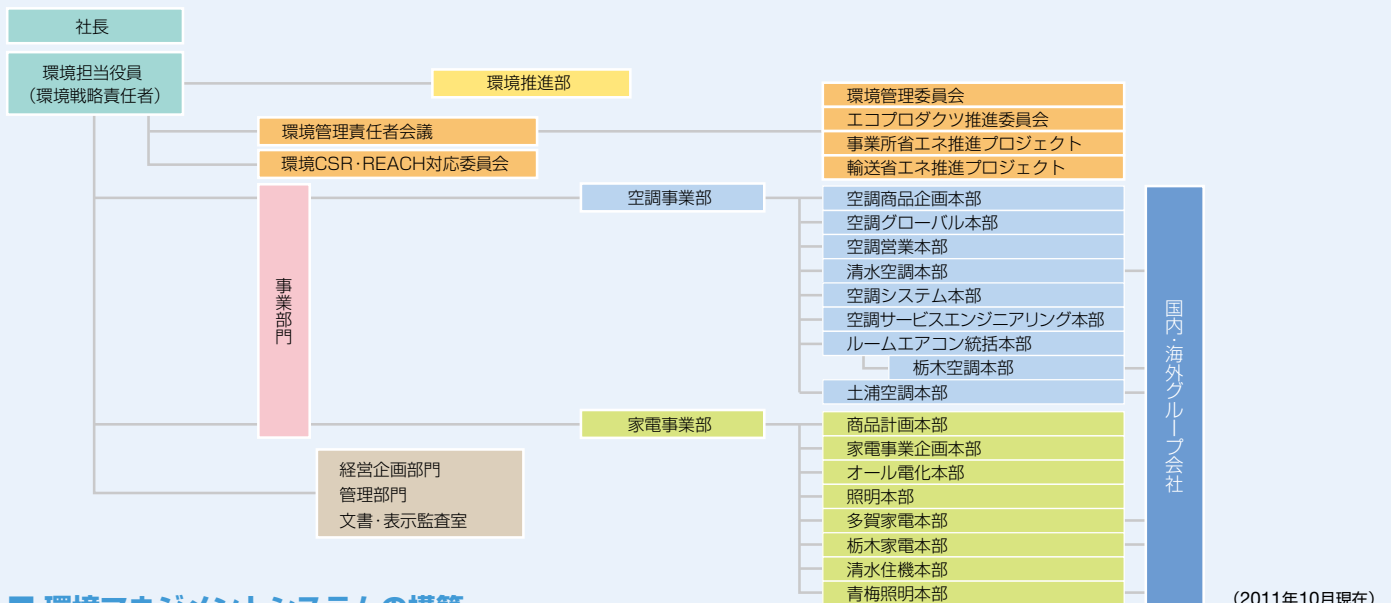
### 行動指針

- 地球環境保全は人類共通の重要課題であり、環境と調和した持続可能な社会の実現を経営の最優先課題の一つとして取り組み、社会的責任を果たす。
- 地球温暖化の防止、資源の循環的な利用、生態系の保全への配慮に関するニーズを的確に把握し、これに対応する高度で信頼性の高い技術および製品を開発することにより社会に貢献するよう努める。
- 環境保全を担当する役員は、環境保全活動を適切に推進する責任を持つ。環境保全を担当する部署は、環境関連規定の整備、環境負荷削減目標の設定などにより環境保全活動の推進・徹底を図るとともに、環境保全活動が適切に行われていることを確認し、その維持向上に努める。
- 製品の研究開発・設計の段階から生産、流通、販売、使用、リサイクル、廃棄などの各段階における、環境負荷の把握と低減を目指したグローバルなモノづくりを推進する。
- モノづくりによって生じる環境への影響を調査・検討し、環境負荷を低減するために省エネルギー、省資源、リサイクル、化学物質管理、生態系への配慮等、環境保全性に優れた技術、資材の導入を図る。
- 国際的環境規制並びに国、地方自治体などの環境規制を遵守するとともに、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
- グローバルなモノづくりに際しては、当該地域の環境に与える影響に配慮し、地域社会の要請に応えられる対策を実施するよう努める。
- 社員の環境に関する法律遵守、環境への意識向上、広く社会に目を向け、幅広い観点からの環境保全活動について教育し、活動する。
- 環境問題の可能性を評価し、発生の防止に努める。万一、環境問題が生じた場合には、環境負荷を最小化するよう適切な措置を講ずる。
- 環境保全活動についてステークホルダーへの情報開示と積極的なコミュニケーションに努め、相互理解と協力関係の強化に努める。

(2010年7月改正)

## ■ 環境管理体制

日立アプライアンスでは、グループ全体を統括する環境戦略責任者と事業所および国内主要関連会社の環境管理責任者で構成する環境管理責任者会議において、グループの方針・目標を審議・決定しています。その決定を受けて、環境推進部が、事業部門や経営企画部門、管理部門、文書・表示監査室と連携して環境保全活動を推進しています。



(2011年10月現在)

## ■ 環境マネジメントシステムの構築

日立アプライアンスでは、環境負荷を低減し、環境保全に貢献する環境活動のひとつとして、環境負荷量の大きい製造拠点を中心にISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、外部機関による認証取得を推進しています。

### ● ISO14001認証取得済み製造拠点

事業所名	取得年月日
栃木事業所	1997年 1月 29日
多賀事業所	1996年 7月 22日
清水事業所	1997年 10月 28日
土浦事業所	1997年 3月 25日
青梅事業所	1997年 9月 30日
日立多賀テクノロジ(株)	1996年 7月 22日
日立レフテクノ(株)	1997年 1月 29日
(株)日立空調SE	1997年 10月 28日
青梅産業(株)	1997年 9月 30日
広州日立冷機有限公司	2004年 6月 28日

事業所名	取得年月日
広州日立圧縮機有限公司	2006年 4月 30日
青島海信日立空調系統有限公司	2005年 12月 19日
上海日立家用电器有限公司	2000年 11月 23日
日立家用电器(蕪湖)有限公司	2003年 10月 10日
Hitachi Home & Life Solutions (India) Ltd.	2006年 2月 14日
Hitachi Air Conditioning Products (Malaysia) Sdn. Bhd.	1997年 4月 22日
台湾日立股份有限公司	1997年 8月 28日
Hitachi Consumer Products (Thailand), Ltd.	1999年 12月 20日
Hitachi Compressor (Thailand), Ltd.	1999年 11月 4日
Hitachi Air Conditioning Products Europe, S.A.	1999年 5月 4日

## 地球温暖化の防止

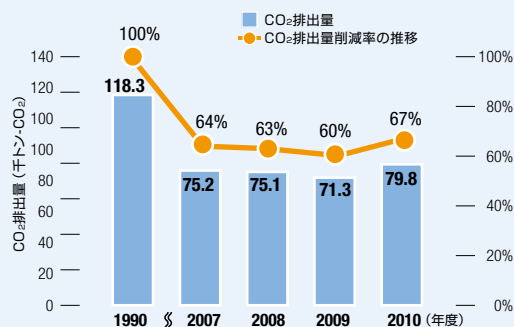
日立アプライアンスは、温室効果ガス排出量を削減して地球温暖化の防止に貢献するため、2010年度までに国内の生産活動に伴うエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。

2010年度は、家電エコポイントの影響等で生産量が増加したことにより、前年度から約8,500トン増加の約79,800トンとなりましたが、1990年度比で約33%削減となっています。

### ■ 国内のCO<sub>2</sub>排出量の推移

集計対象：栃木事業所、多賀事業所<sup>\*1</sup>、清水事業所、青梅事業所<sup>\*1</sup>、日立レフテクノ(株) (土浦事業所は、(株)日立プラントテクノロジー土浦事業所内にあり、(株)日立プラントテクノロジーと一体で活動しているため集計対象に含めていません)

※1 一体で活動している関連会社を含めています

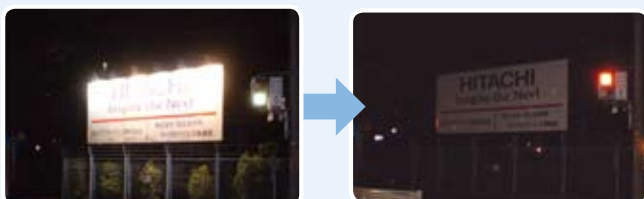


CO<sub>2</sub>排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」におけるCO<sub>2</sub>排出係数を基に算出しています。電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、1990年度は、電気事業連合会の1990年度使用端CO<sub>2</sub>排出原単位、2007年度以降は、環境省が公表した各年度の電力会社の実排出係数を使用。ただし、2010年度の電力会社の実排出係数は未公表のため、2010年度のCO<sub>2</sub>排出量は、2009年度の実排出係数を使用しています。

## ライトダウンキャンペーンに参加

環境省が実施するライトダウンキャンペーンに参加し、栃木事業所や青梅事業所の看板照明の消灯を実施しています。

環境省は、2003年より地球温暖化の防止のためライトアップ施設の消灯を呼びかける「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」を行っています。例年、一年のうちで最も夜の短い夏至の日と七夕の2日間実施していましたが、今夏のライトダウンキャンペーンは、6月22日(夏至)から8月31日まで約2ヶ月間にわたり、昼も夜も自主的なライトダウンを行うことを呼びかけました。



青梅事業所の看板照明

## モーダルシフトの取り組み

製品輸送におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減のため、トラック輸送の一部を鉄道輸送や船舶輸送に切り替えています。鉄道や船舶は大量輸送機関であり、トラック輸送より少ないCO<sub>2</sub>排出量(鉄道は約1/7、船舶は約1/3)で輸送することができますが、輸送ルートの末端では、トラック輸送となり、積み替えが必要です。このため、これらを機動的に組み合わせ、総合的にCO<sub>2</sub>排出量を削減できるように取り組んでいます。

栃木事業所では、東京港から栃木事業所まで海上コンテナを輸送する際に、サイズの異なる海上コンテナでも積載可能な共用トレーラーシャーシを導入して、東京港⇄東京貨物ターミナル駅間、宇都宮貨物ターミナル駅⇄栃木事業所間のトラック輸送にも共用トレーラーシャーシを有効活用することで、鉄道輸送の拡大を実現しています。

この取り組みで、(株)日立物流と当社は共同で「平成22年度グリーン物流優良事業者表彰(国土交通省大臣官房技術総括審議官表彰)」を受賞しました。

## 資源の有効利用

日立アプライアンスでは、生産活動において発生する廃棄物と有価物(資源として市場価値のあるもの)を対象に、発生量の削減と最終処分量(埋め立て処分量)の削減に取り組んでいます。

2010年度の廃棄物等の発生量は、生産量の増加に伴い前年度から約4,700トン増加の約31,200トンとなりましたが、各事業所における地道な廃棄物の分別・リサイクル活動により、最終処分量は約6.2トンと、前年度から約1.4トン削減でき、国内5事業所において、最終処分量を限りなくゼロに近づけるゼロエミッション<sup>\*1</sup>を達成しています。

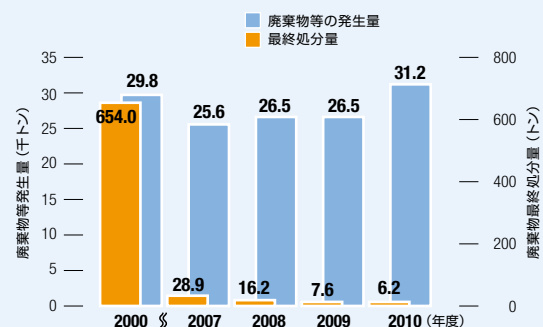
※1 ゼロエミッション：廃棄物を別の産業の原料として使用することで、埋め立て処分量をゼロにしていく考え方。

日立の定義：当該年度の最終処分率(埋め立て処分量/廃棄物等の発生量)1%以下かつ最終処分量5トン未満。事業所毎に評価。

### ■ 国内の廃棄物等の発生量および最終処分量の推移

集計対象：栃木事業所、多賀事業所<sup>\*1</sup>、清水事業所、青梅事業所<sup>\*1</sup>、日立レフテクノ(株) (土浦事業所は、(株)日立プラントテクノロジー土浦事業所内にあり、(株)日立プラントテクノロジーと一体で活動しているため集計対象に含めていません)

※1 一体で活動している関連会社を含めています





## 家電リサイクルへの対応

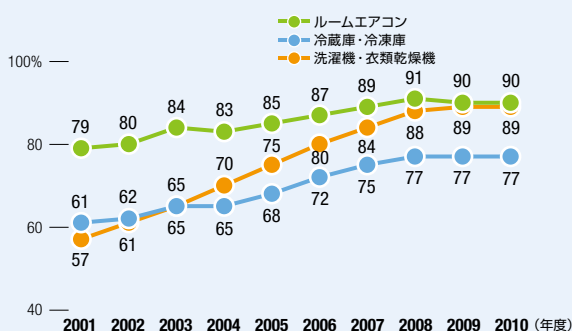
日立アプライアンスは、2001年に施行された家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)への対応として、使用済み家電製品のリサイクルを行う家電リサイクルプラント(株)関東エコリサイクルを栃木事業所内に設立し、家電4品目のリサイクル処理を行っています。ここで得られた処理ノウハウを解体・分別しやすい設計などに活かしています。

また、多賀事業所内の日立多賀テクノロジー(株)では、家電リサイクルプラントで回収した使用済み家電製品のプラスチックの改質・再生を行っており、ここで再生したプラスチックを当社の製品の一部に再利用しています。

### ■ 2010年度使用済み家電3製品の再商品化等の実績

項目	ルームエアコン	冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機
再商品化処理台数(千台)	339	513	700
再商品化等処理重量(トン)	13,964	31,421	23,927
再商品化重量(トン)	12,661	24,201	21,481
再商品化率(%)	90	77	89
法定再商品化率(%)	70	60	65

### ■ 使用済み家電3製品の再商品化率の推移



## 化学物質の管理

2005年に改正された大気汚染防止法に基づき、日立グループが独自に定めた41種類の揮発性有機化合物(VOC※1)を対象に、事業所からの排出量の削減に取り組んでいます。

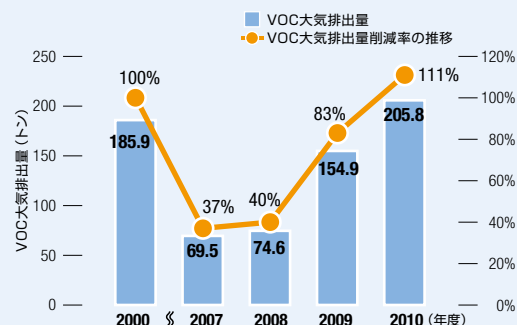
2010年度は、多賀事業所での生産合理化に伴う塗装設備の増設や家電エコポイントの影響等による生産量の増加により、VOC大気排出量は大幅に増加する結果となりました。

※1 Volatile Organic Compoundsの略。揮発性を有し、大気中で気体状となる有機化合物の総称。トルエン、キシレン、エタノールなどが含まれる

### ■ 国内のVOC大気排出量の推移

集計対象: 栃木事業所、多賀事業所※1、清水事業所、青梅事業所※1、日立レテクノ(株)(土浦事業所は、(株)日立プラントテクノロジー土浦事業所内にあり、(株)日立プラントテクノロジーと一体で活動しているため集計対象に含めていません)

※1 一体で活動している関連会社を含めています



## 製品含有化学物質の管理、REACH規則への対応

日立アプライアンスは、製品に含有される化学物質を管理するために、「環境CSR対応モノづくり規程」を制定し、製品の開発設計、調達、製造段階における含有化学物質を管理しています。そのなかで13の禁止物質群※1と13の管理物質群※2を設定し、日立グループ自主管理化学物質として管理・運用するガイドラインを設けています。

また、欧州の化学品規制であるREACH規則※3に対応するために、国内外の各事業所にて構内説明会、取引先説明会を実施し、SVHC(高懸念物質)含有情報の収集・把握・伝達する仕組みを構築しました。

※1 禁止物質 13物質

- ①カドミウム ②六価クロム ③鉛 ④水銀 ⑤TBTO
- ⑥PBB ⑦PBDE ⑧PCB ⑨ポリ塩化ナフタレン
- ⑩短鎖型塩化パラフィン ⑪アスベスト ⑫アゾ染料・顔料
- ⑬オゾン層破壊物質(Class I)

※2 管理物質 13物質

- ①アンチモン ②ヒ素 ③ベリリウム ④ビスマス ⑤ニッケル
- ⑥セレン ⑦臭素系難燃剤 ⑧PVC ⑨フタル酸エステル
- ⑩TBT・TPT ⑪オゾン層破壊物質(Class II) ⑫放射性物質
- ⑬REACH想定物質

※3 REACH規則: Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicalsの略称。EU規則「化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則」



取引先説明会/  
栃木事業所

## 展示会への出展

日立アプライアンスでは、環境への取り組みや環境に配慮した製品・技術に対する理解を深めてもらうために国内外の展示会に出展しています。

国内では、2010年12月に東京ビッグサイトで開催された国内最大の環境展示会「エコプロダクツ2010」に出展、「持続可能な社会をめざして～事業を通じて地球環境の保全に貢献～」をテーマに、当社の冷蔵庫、洗濯乾燥機、LED照明などを展示しました。海外では、2011年2月に、インド・ニューデリーで開催された「第7回エコプロダクツ国際展」に出展、Hitachi Home & Life Solutions (India) Ltd.のエアコンなどを展示しました。

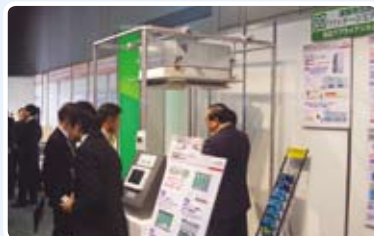
エコプロダクツ2010  
(東京ビッグサイト/  
2010年12月)



第7回エコプロダクツ国際展  
(インド・ニューデリー/  
2011年2月)

日立グループ環境・省エネ展  
2011 in 関西  
(ハービスOSAKA/  
2011年2月)

業務用空調機・業務用エコキュートなどを紹介



ライティング・フェア2011  
(第10回国際照明総合展)  
(東京ビッグサイト/  
2011年3月)

LED照明などを紹介



## 環境教育への貢献

子供たちのエコマインドを高め、当社の環境への取り組みを理解してもらうために、国内外で環境教育に力を入れています。従業員の家族を招いた見学会の開催や、近隣の小学校の工場見学、外部団体が主催する見学会の受け入れなどを随時行っており、子供たちが学べる機会をつくるよう努めています。

産業廃棄物処理施設  
見学会／清水事業所



小学校の見学受け入れ／多賀事業所

## 自然保護活動

日立アプライアンスでは、工場敷地の緑地保全活動や従業員参画の植樹活動など自然保護に関する社会貢献活動に国内外で取り組んでいます。

栃木事業所では、事業所創設時に自生していた樹木を道路沿いに移植したほか、自然林ができるだけ分断されないように配置を工夫するなど、原形に近い状態での緑地形成を推進。敷地内外の緑地を「公園工場」と位置づけて、その一部を市民に開放し、近隣の幼稚園や小学校の活動の場として活用されています。これらの活動が評価され、2010年10月「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に認定されました。

広州日立冷機有限公司や広州日立圧縮機有限公司では、従業員とその家族が、広東省従化市の緑化委員会が主催する植樹活動に継続的に参加しています。



事業所内の緑地／  
栃木事業所



広東省従化市の植樹活動に参加した  
従業員とご家族／  
広州日立冷機有限公司・  
広州日立圧縮機有限公司

# 会社概要

会社名	日立アプライアンス株式会社 (Hitachi Appliances, Inc.)
主な事業内容	総合空調及び家電製品の開発・製造・販売
取締役社長	山本 晴樹(やまもと はるき)

資本金	200億円(株式会社日立製作所 100%出資)
設立年月日	2006年4月1日
従業員数(連結)	約18,200名(2011年3月末日現在)
Webサイト	<a href="http://www.hitachi-ap.co.jp">http://www.hitachi-ap.co.jp</a>

## 本社・本店

本社  
(家電事業部他)  
Tel. 03-3502-2111 〒105-8410  
東京都港区西新橋二丁目15番12号  
(日立愛宕別館)

本店  
(空調事業部他)  
Tel. 03-6403-4555 〒105-0022  
東京都港区海岸一丁目16番1号  
(ニューピア竹芝サウスタワー)

## 製造拠点

栃木事業所  
Tel. 0282-43-1122 〒329-4493  
栃木県栃木市大平町富田800番地

清水事業所  
Tel. 054-334-2081 〒424-0926  
静岡県静岡市清水区村松390番地

青梅事業所  
Tel. 0428-31-1211 〒198-8611  
東京都青梅市新町六丁目16番2号

多賀事業所  
Tel. 0294-34-1111 〒316-8502  
茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号

土浦事業所  
Tel. 029-832-5840 〒300-0013  
茨城県土浦市神立町603番地

## 空調事業部営業拠点

北海道営業所  
Tel. 011-717-5301 〒060-0809  
北海道札幌市北区北九条西3丁目10番1号  
(小田ビル)

福島営業所  
Tel. 024-921-5550 〒963-8023  
福島県郡山市緑町5番地15

北陸支店  
Tel. 076-429-4051 〒939-8214  
富山県富山市黒崎627番地3

関西支店  
空調システム本部  
Tel. 06-6531-9111 〒550-0005  
大阪府大阪市西区西本町一丁目10番10号  
(オーエックス西本町ビル)

四国営業所  
Tel. 087-833-8701 〒760-0072  
香川県高松市花園町一丁目1番5号  
(花園ビル)

北日本支店  
Tel. 022-266-1321 〒980-0802  
宮城県仙台市青葉区二日町9番7号  
(大木青葉ビル)

関東支店  
Tel. 03-6403-4510 〒105-0022  
東京都港区海岸一丁目16番1号  
(ニューピア竹芝サウスタワー)

中部支店  
Tel. 052-251-0371 〒460-0008  
愛知県名古屋市中区栄三丁目13番20号  
(栄センタービル)

中四国支店  
Tel. 082-240-6151 〒730-0051  
広島県広島市中区大手町三丁目2番31号  
(損保ジャパン広島大手ビル)

九州支店  
Tel. 092-561-4851 〒815-0031  
福岡県福岡市南区清水四丁目9番17号

## 家電事業部照明本部営業拠点

東北営業所  
Tel. 022-266-1321 〒980-0802  
宮城県仙台市青葉区二日町9番7号  
(大木青葉ビル)

関東営業所  
Tel. 03-3506-1458 〒105-8410  
東京都港区西新橋二丁目15番12号  
(日立愛宕別館)

中部営業所  
Tel. 052-884-5831 〒456-8544  
愛知県名古屋市中区熱田区桜田町16番17号  
(株)日立産機システム中部支社内)

中四国営業所  
Tel. 082-233-4381 〒733-0036  
広島県広島市西区観音新町一丁目7番17号

東京営業所  
Tel. 03-3506-1455 〒105-8410  
東京都港区西新橋二丁目15番12号  
(日立愛宕別館)

関東営業所  
茨城事務所  
Tel. 029-231-7717 〒310-0005  
茨城県水戸市水府町1492番地

関西営業所  
Tel. 06-6448-6321 〒550-0002  
大阪府大阪市西区江戸堀二丁目6番33号  
(江戸堀フコク生命ビル3F)

九州営業所  
Tel. 092-281-3737 〒812-0025  
福岡県福岡市博多区店屋町7番18号  
(博多渡辺ビル)

## 国内関連会社

日立多賀テクノロジー(株)	日立レフテクノ(株)	(株)日立空調SE	青梅産業(株)
日立空調関東(株)	(株)新潟日立	日立空調関西(株)	九州日立空調(株)
神奈川日立空調(株)	静岡日立冷熱(株)	日立空調テクノサービス(株)	(株)関東エコリサイクル
			(株)日立ソフテック

## 海外関連会社

広州日立冷機有限公司	広州日立圧縮機有限公司	青島海信日立空調系統有限公司
日立空調科技(蘇州)有限公司	上海日立家用電器有限公司	日立家用電器(蕪湖)有限公司
上海日立電器有限公司	Hitachi Home & Life Solutions (India) Ltd.	Hitachi Air Conditioning Products (Malaysia) Sdn. Bhd.
Hitachi Industrial Machinery Philippines Corp.	Hitachi Air Conditioning Products (Phils), Inc.	台湾日立股份有限公司
Hitachi Consumer Products (Thailand), Ltd.	Hitachi Compressor (Thailand), Ltd.	Hitachi Tochigi Electronics (Thailand) Co., Ltd.
日立空調系統(上海)有限公司	日立空調系統(香港)有限公司	Hitachi Asia Ltd.
Hitachi Air Conditioning Products Europe, S.A.	Hitachi Europe S.A.S	Hitachi Air Conditioning Products Brazil, Ltd.
Hitachi America, Ltd.		



#### 報告対象範囲

- **対象期間** 2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日)
- **対象組織** 日立アプライアンスグループ連結対象会社  
(上記と対象範囲が異なる場合、その旨を記載しています)
- **参考にしたガイドライン** 「環境報告ガイドライン(2007年版)」(環境省)  
「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン-2002年度版-」(環境省)  
「ステークホルダー重視による環境レポートガイドライン2001」(経済産業省)
- **次回発行時期** 2012年8月頃
- **Webサイト** <http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo>

お問い合わせ先

◎日立アプライアンス株式会社

環境推進部

東京都港区西新橋二丁目15番12号 日立愛宕別館 〒105-8410

TEL: 03-3502-2111(代表) FAX: 03-3506-1442



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

2011年10月発行